

働く男のライフスタイル情報紙

Biz Life Style [ビズスタ東京]

2017 11

特別版

『BizLifeStyle』は東京、神奈川、名古屋、関西、京都・滋賀、仙台、福岡、広島にて62万部発行
下記URLまでアクセスを。

www.biz-s.jp

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは
TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005

企画・制作 / 株式会社ディリースポーツ案内広告社
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F
© 2017 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD



なぜ絆の証には ダイヤモンドが相応しいのか。

婚約指輪や結婚指輪、結婚記念日などに贈るダイヤモンド。では、なぜダイヤモンドなのか。あまりにも当然のことになっていて、考える機会はおまわりない。

ダイヤモンドの語源は諸説あるが、ギリシア語の「アダマス」が有力とされる。「何事にも屈しない」「不変」を意味する言葉で、戦士が「自分は変わらぬ」という意味を込めて、妻や恋人にダイヤモンドを預けて戦場に向かったという逸話があるそう。弓矢や盾を与えても、彼女が身を守るかどうかはわからない。ならば、不変の愛を示すダイヤモンドを託し、無事に帰還したら生添え逐げよう……そんなロマンティックなシーンが浮かぶ。

結婚指輪を左手の薬指につけるのも、実は理由がある。古代ギリシアでは、心臓は人間の感情を司る場所で、左手の薬指は心臓から一番熱い血が流れる指と考えられていたという。相手の気持ちを掴み、より強い絆を得るには、この指でなければならなかったわけだ。

ダイヤモンドの鉱石は、新しいものでも実に1億年以上も前のものと言われ、まさに「地球からの贈り物」だ。永遠の誓いの証として、あるいは子や孫へと受け継ぐ資産として、これ以上に相応しい品はないだろう。

だが、ダイヤモンドの価値に「輝き」という新しい概念が与えられるときがやってくる。そこで、次ページではこの「新しい価値」をもたらした、ある企業の物語を、紹介しよう。

リング「エクセルシア」(エクセルコ ダイヤモンド)



58面体を作った男の系譜、ベルギー「エクセルコ」の偉業。

ダイヤモンドと聞くと反射的に思い浮かべる「あの形」は
実は数学的な見地から創られたものだった

数学者が切り開いた
ダイヤモンドの「輝きの時代」

ダイヤモンドと言えは、不滅の輝き。現在では美の代名詞として認知されているが、輝きが重視されるようになったのはごく最近のこと。意外なことに、かつてのダイヤモンド業界では大きさや重量が重視されており、輝きへと軸を移したのは20世紀に入ってからのことだという。

「輝きが命」という認識が広まったのは、とある偉人が新たな価値を提案したことがきっかけだ。歴史に残る大転換を提供したその人物は、マーセルトルコウスキー。ダイヤモンドの一大センターとして栄えていたベルギーのアントワープに根を下ろすトルコウスキー家の4代目にあたる。

数学者でもあったマーセルは、「もっと美しいダイヤモンドを創りたい」という信念のもと、反射や屈折率をはじめとする光学上の特性を数学的に解析。ダイヤモンドが秘めた光を放つのに最も適したプロポーションを見出すことに成功したのだ。



マーセル・トルコウスキー

1919年に考案された58面体の「ライディアルラウンドブリリアントカット」は、現在流

通するダイヤモンドの90%を占めるラウンドブリリアントカットの原点だ。名称を聞くだけでピンと来る通り、マーセルの偉業は、百年近くを経過した今もなお「業界標準」として生きている。

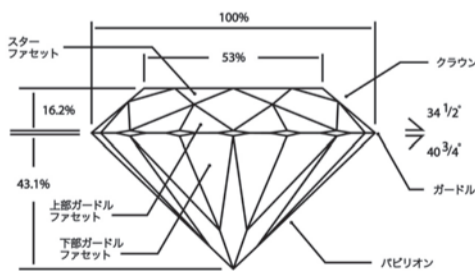
このマーセルの正統継承者として、「完璧な輝き」を掲げて1994年に同地でエクセルコ社を設立したのが、ジャンポールトルコウスキーだ。7代目となるジャンポールは、マーセルが発明した58面体のキューレット(先端部)のカット面を省いた57面体を開発。上部から入った光を全反射する形へと改良し、「輝き」はいつもう高みへと昇ることになったのだ。

あらゆる角度からの検証ですべて「完璧」を求めて

ダイヤモンドには、「4C」と呼ばれる評価基準がある。カラット(重さ)、カラー(色)、クラリティ(透明度)、そしてカットだ。このうち先の3つは石そのものの性質に由来するが、カットだけは人間の手によるものであるため、その技術力によって大きく左右されることになる。

最終的にはプロポーション(カットの総合評価)、研磨状態、左右対称性の3項目で評価され、項目ごとに5段階に格付けされる。エクセルコ社の製品は、3項目すべてが最上級の「トリプルエクセレント」のダイヤモンドを使用。そのクオリティは、ダイヤモンドの輝きを

科学的に分析する「サリネライト」システムによる評価データで証明される。輝きの評価は9段階のグレードスケールに分かれているが、このレポートが発行される同社のダイヤモンドは、ひとつ残らず最高評価の「ウルティメイト」を獲得しているとか。



ダイヤモンドは、ダイヤモンドであればよいわけではない。不滅の輝きを秘めるからこそ、その輝きは「完璧」でなければならぬのだ。品質に厳しい目が向けられる現代だが、もともと数学的な見地から始まったエクセルコ社には、優位を示す上でむしろ歓迎すべき時代なのだろう。

「常軌を逸している」
熟練鑑定士でさえ驚く技術

さて、ダイヤモンドの原石は、天然物ゆえに個体差があり、部位によって硬さも異なる。その微かな差異を見極めなければ

ならないため、「完璧」に相応しいカットを施すには、熟練工の高度な技術が不可欠となる。
天才カッターの系譜を今に受け継ぐエクセルコ社は、無論このカッティング技術も半端なものではない。何と通常の4倍にあたる36もの工程を置き、しかもその全工程に検査またはクオリティコントロールを課しているという異様な徹底ぶりだ。カットチェックだけでなく多くの技師が携わるという点だけでも、その品質管理の厳しさが容易に想像できるだろう。こうして作られる同社のダイヤモンドは、熟練鑑定士をして「常軌を逸した精度」とまで言わしめるレベルに達しているぞうだ。



ダイヤモンドの研磨法は、15世紀の中ごろ、ベルギーの宝石研磨職人ベルケが開発したとされる。以来、同国のアントワープにはダイヤモンドカット職人が多く住み、ダイヤモンド取引およびカット・研磨の中心地として栄えた。19世紀に入り、アブラハム・トルコウスキーが一族で構成する研磨工場を設立。ここから、現在まで200年以上の長きに及ぶ「輝きの歴史」が始まった。

My Favorite Life Style

Aube



アーム部分のメレダイヤモンドをミル打ちで囲み、サイドには中世ヨーロッパの絵画をモチーフにしたレリーフが細工された芸術的なリング。華やかでありながらも繊細さが美しい。センターダイヤモンドの形がはっきりと見える様につくられた柔らかい流線型の石座も特長であるデザイン。

Plaisir



光を取り入れるための緻密な窓。その形状は、ダイヤモンドのブリリアンシーが外側に向かって輝く様子を表現。センターダイヤモンドと周囲のメレダイヤモンドとの間に空間を設ける事で、センターダイヤモンドが浮いているかのように見える工夫が成されている。アームをイエローゴールドにすることで、より華やかに。センターダイヤモンドとの対比が美しく際立つ。

Lien Infini



永遠の絆を意味するリアンフィニ。古代ヨーロッパでは、リボン結びをすることで絆を強固にする、と伝えられていた。そのリボンを表す石座とアームを繋ぐ曲線は、女性をより美しく引き立てる。メレダイヤモンドの彫留セッティングも、センターダイヤモンドの輝きをより一層際立たせるため使われている。

人の頭脳と技術があって、ダイヤモンドは初めて輝く。

「ダイヤモンドをダイヤモンドで照らす...」
「より美しく輝き」への執念
もはや戦慄を覚えるほど厳格な体制を
保つエクセルコ社だが、その想いはデザイン
面にも踏襲されている。エンゲージリングや
マリッジリングなど、いずれの製品カテゴリー
においても、ひたすら「ダイヤモンドを輝か
せるため」の設計が施されているのだ。

たとえば、表紙の写真のリング「エクセル
シア」は、非常にシンプルな印象に仕上げら
れていることに気付くはずだ。言うまでも
なくセッティングされたダイヤモンドのシルエツ
トと輝きを最大限に引き出すためのフォル
ムであり、爪は丸いものが一般的だが、ひし
形にすることでよりシャープさを演出する
など、ジュエリー製品としての繊細なアレ
ンジが展開されている。エクセルシアでは、
小さなダイヤモンドが石座の中にセッティング
されているのだが、これは反射した光でセン
ターダイヤモンドを下から照らすため照
明装置と考えればよいだろう。「ダイヤモ
ンドをダイヤモンドで輝かせる」というの
だから、その豪華さもさることながら、も
はや執念とも言える発想力には驚かされ
るばかりだ。

この小さなダイヤモンドは、装飾として
もあしらわれ、「メレダイヤモンド」と呼ば
れるものだ。エクセルコでは、この「一粒」に
まで意味を持たせているという。
「プレジール」では、光量をより豊かに取
り込むために、緻密に設計された「窓」が採
用されている。その形状は、ダイヤモンドの
ブリリアンシーを外側に向けて輝かせるた
めのものだ。センターダイヤモンドと周囲
のメレダイヤモンドとの間に空間が設けら
れているのは、センターダイヤモンドが浮い
ているように見える演出。非常に細かい部
分だが、これらの工夫があって初めて「二線
を画す輝き」へとつながるのだ。
ハイエンドであるがゆえに「括弧で語られ
がちなダイヤモンドだが、希少性に頼るこ
となく汗をかけた、オンリーワンの輝きを
得ることができる。58面体を生み出した百
年前の「美の追求」は、今も続いているのだ。

Wild Rose

エンゲージリング、マリッジリング2本を
重ねることを想定したデザイン



エンゲージリングとマリッジリングを重ねて着けることを想定し、2本のバランスを緻密にデザインした「セットリング」。ワイルドローズは、ランダムに配されたメレダイヤモンドの輝きをさらに引き立てるべく、2本が少し空間を設けながらやわらかな曲線を同時に描きだす。まるで小さなバラが咲き誇るように。

Elisabeth

ひとつひとつ職人により手打ちされるミル



ダイヤモンドをつなぐ華やかなアームのラインは3石のメレダイヤモンドの輝きをより引き立てる。また、均一な大きさに施す繊細なミル打ちは指先を上品に演出。メンズには、男性を表現するブラックのダイヤモンドをセッティングしており、スタイリッシュなデザイン。

Beau Lac

美しく配されるエタニティリング



(左)上下にミルを施すことによって、よりダイヤモンドの輝きを引き立てる。また、サイドにはレースの様なミルがオリジナリティあふれるデザイン。
(右)バゲットカットとラウンドカットを交互にセッティングしているダイヤモンド。ブランドならではの洗練されたエタニティリング。

Belle Fabiola



ファビオラカットのダイヤモンドをひし形にセッティングすることで、四角を強調しすぎないため、スタイリッシュかつ、柔らかな印象を与える。アーム部分は、プラチナの曲線やラインにこだわった作りのデザイン。

エクセルコ ダイヤモンド、日本展開20周年。

20年の節目を記念した特別な
アニバーサリープロジェクトが発足。

日本で最初の店舗としてオープンした銀座4丁目に構えるエクセルコダイヤモンド東京本店は、今年でオープンから20周年を迎える。

これを記念して、日本国内限定の注目企画が発足した。母国ベルギー皇后の名を冠したエクセルコ社オリジナル「ファビオラカット」の1000ピース限定アニバーサリープロジェクトである。

ファビオラカットとは、欧州の王族たちがこよなく愛したクッションカットをベースに、57面体の開発者であるジャン・ポール・トルコウスキー自らが手を加えた70面体のダイヤモンドだ。多数の面が複雑に発する光によって、中心に花びらが浮かび上がるように見えるのが特徴。ファビオラカットが日本でこれだけ充実するのは、実に10年ぶりの動き。高品質な原石の調達はもちろん、この複雑なカットリングが任せられる職人をわざわざ召集してカッ

ト工程ラインが組まれたというエクセルコ社にとっても大企画だ。

ファビオラカットのダイヤモンドをセッティングした新作リング「ベルファビオラ」は、浮き上がる花模様を強調するデザインで、ラウンドカットと同様の強い輝きが楽しめる仕上がりとなった。まさにアイディルブリアントカットを極めたものが生みだす逸品だ。アームのラインはダイヤモンドの端正な表情に合わせつつ、サイドからの角度で石座は花が咲き開く様子を表現するなど、過去のファビオラリングに比べてモダンな印象を放つのが特徴だ。

現在、エクセルコダイヤモンドでは「クリスマスフェア」を開催中。下記の通りプレゼントも用意されているので、ぜひ出かけてみよう。これから永遠の愛を誓うカップルなら、「これほど想いをそのまま表現できるものはない」と実感するはずだ。



Fabiola

センターのダイヤモンドを取り囲むミル打ちがファビオラカットのシェイプの美しさを強調する、クラシカルなデザイン。



Beau Chateau

芽から咲く、華やかな美しい花を透かし模様で表現した石座は、軽やかで繊細な仕上がりになっている。

Biz Life Style Pick up >>> 2017年12月25日(月)まで

ファビオラカットの美を再現した特別なグラスも！ クリスマスフェアを開催中

「エクセルコ ダイヤモンド」各店では、現在、クリスマスフェアを開催中。期間中、来店の方には「特製リングホルダー」を、さらに、エンゲージリング(セミオーダー、フルオーダーも含む)を成約の方には、「ファビオラカット」のダイヤモンドの中心部分に浮かび上がる花模様をグラス底面に彫刻した「オリジナルペアグラス」をプレゼント。詳しくは下記店頭にて。

※男性一名でエンゲージリングを成約された方には、ダイヤモンドをセットして「最愛」の意味が成り立つ「ローズボックス」をプレゼント。※マリッジリングを成約された方には「リングピロ- or プライダルハンカチ」をプレゼント。※プレゼントは先着順となりますので、品切れの際はご容赦ください。



www.exelco.com
http://instagram.com/exelcodiamond



東京本店 | TEL 03-5565-0181
東京都中央区銀座4-10-10
交通/地下鉄銀座線・丸の内線「銀座駅」A7出口から徒歩1分、日比谷線・都営浅草線「東銀座駅」A2出口から徒歩0分
営業時間/11:30a.m.~8:00p.m.(年中無休 12/31・1/1を除く)



青山店 | TEL 03-5774-4641
東京都港区北青山3-6-21
交通/地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線「表参道駅」B2出口から徒歩1分
営業時間/11:30a.m.~8:00p.m.(火曜定休/祝日は営業 12/31・1/1を除く)